

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	四街道市児童デイサービスセンターくれよん		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日 ～ 令和7年2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日 ～ 令和7年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・児童指導員・看護師の他、小児神経科医・理学療法士・臨床心理士・言語聴覚士・音楽療法士などの専門職員が支援している。	専門職員とのカンファレンスを行い、職員全員が共通して個別の理解を深め、支援していける体制を意識している。	専門職員による職員研修、保護者向け勉強会などを積極的に行っていく。
2	親子通所であるため、保護者がタイムリーに支援方法を知ることができる。相談を気軽にできる環境である。また、同じような悩みを持つ保護者同志の交流機会も多くピアサポートの場になっている。	・保護者同士の交流ができるように親子分離の時間を設定している。 ・保育園や幼稚園と連携し、訪問や電話等で利用児の情報共有をしている。	終了児保護者との交流を持てる機会などを作り、保護者が気軽に相談できる人や場所を知ることができるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訓練や災害時マニュアル(緊急時・感染症)などの情報発信不足。	・保護者の方へ災害時対応マニュアル(緊急時・感染症)があることや避難訓練実施の周知と保護者への伝え方の工夫が必要。 ・訓練後の活動報告の工夫。	・回覧方法の改善。 ・それぞれのマニュアルの抜粋したものを作成し、契約時等に配布して周知していく。
2	定期的な療育の積み重ねが難しい	・両親が就労している家庭が多い。 ・保育園や幼稚園の集団に所属しているお子さんが多く、所属の集団を欠席して午前療育に参加を希望する方が少ない。	時代に即した通所形態(親子通所含め)の検討をしていく。
3			